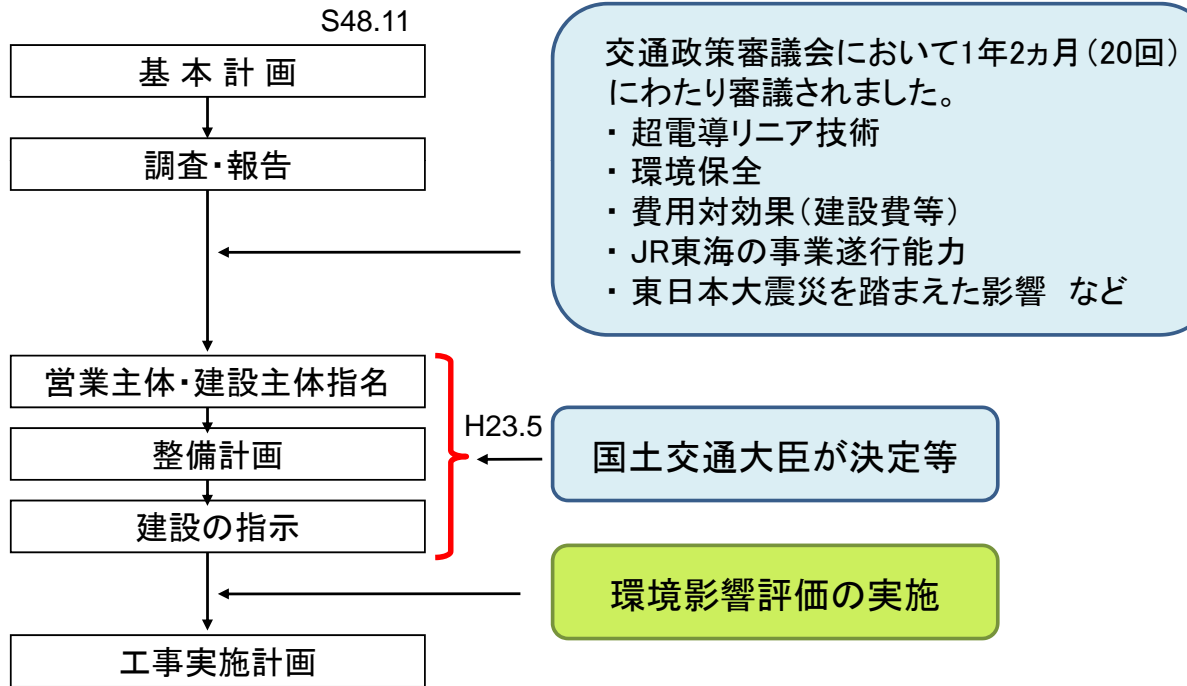


全国新幹線鉄道整備法に基づき計画を推進

- 平成23年5月、国土交通大臣より当社に中央新幹線の建設指示が出されました



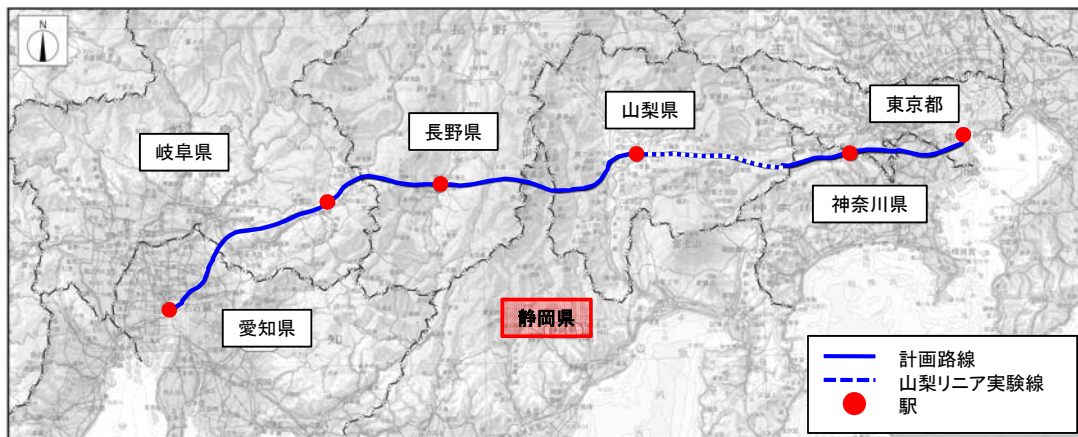
1

超電導リニアによる中央新幹線計画

整備計画の内容

建設線	中央新幹線	
区間	東京都・大阪市	
走行方式	超電導磁気浮上方式	
最高設計速度	505キロメートル/時	
建設に要する費用の概算額 (車両費を含む)	90,300億円	
その他必要事項	主要な経過地	甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近

概略の路線(東京都・名古屋市間)



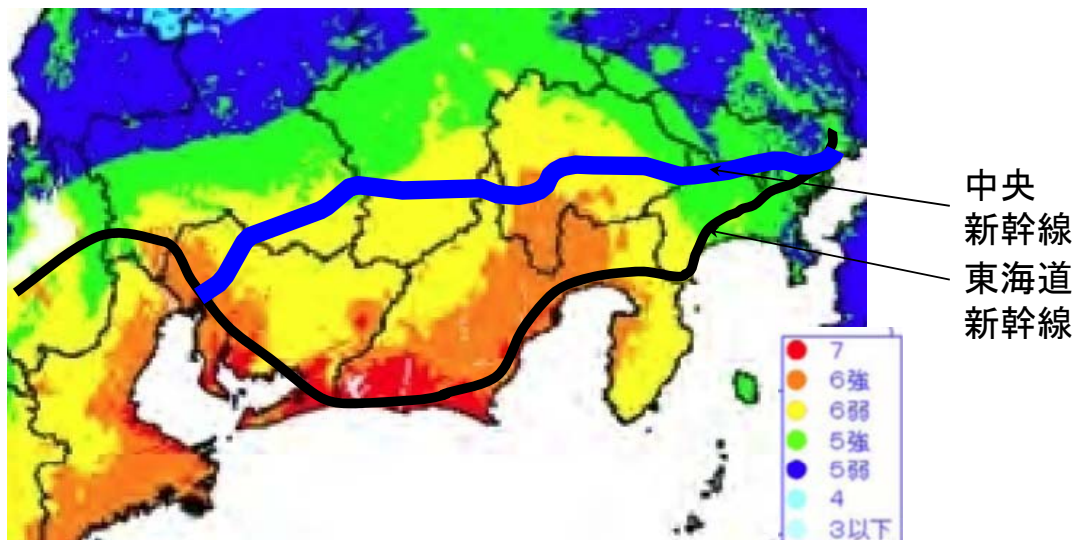
2

抜本的なリスク対策としての二重系化

東京・名古屋・大阪を結ぶ日本の大動脈輸送については、

- ・東海道新幹線が開業から49年を経過し、将来の経年劣化への抜本的な備えが必要です。
- ・大規模地震等、将来の大規模災害への抜本対策が必要です。

(参考)「南海トラフ巨大地震」の震度分布

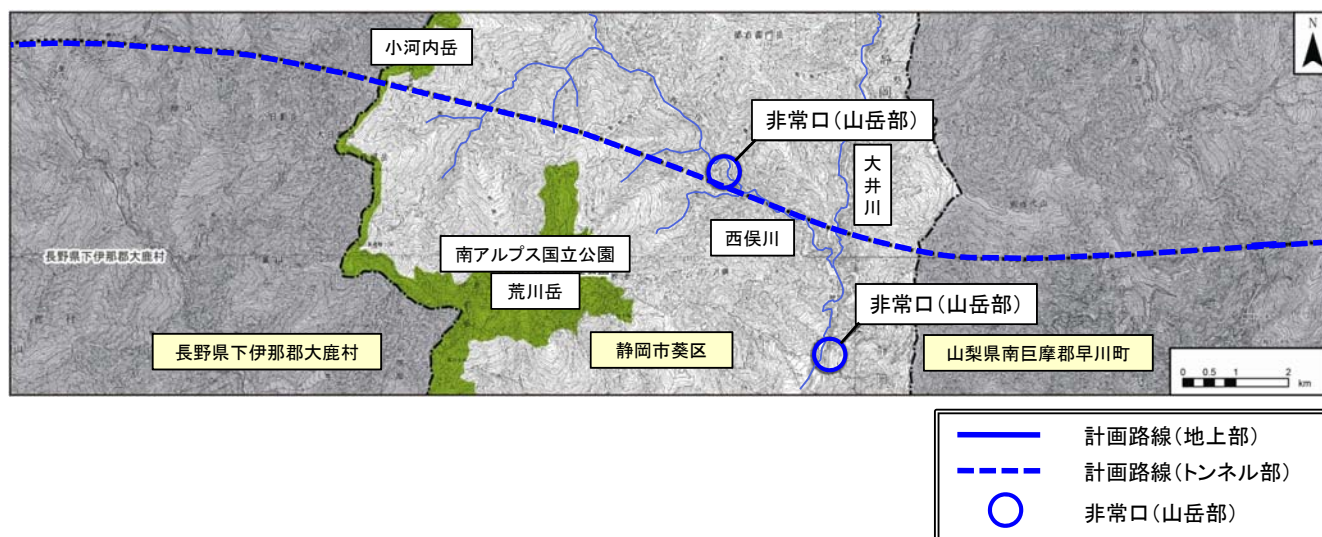


出典: 南海トラフの巨大地震モデル検討会資料(H24.8.29)に一部加筆

3

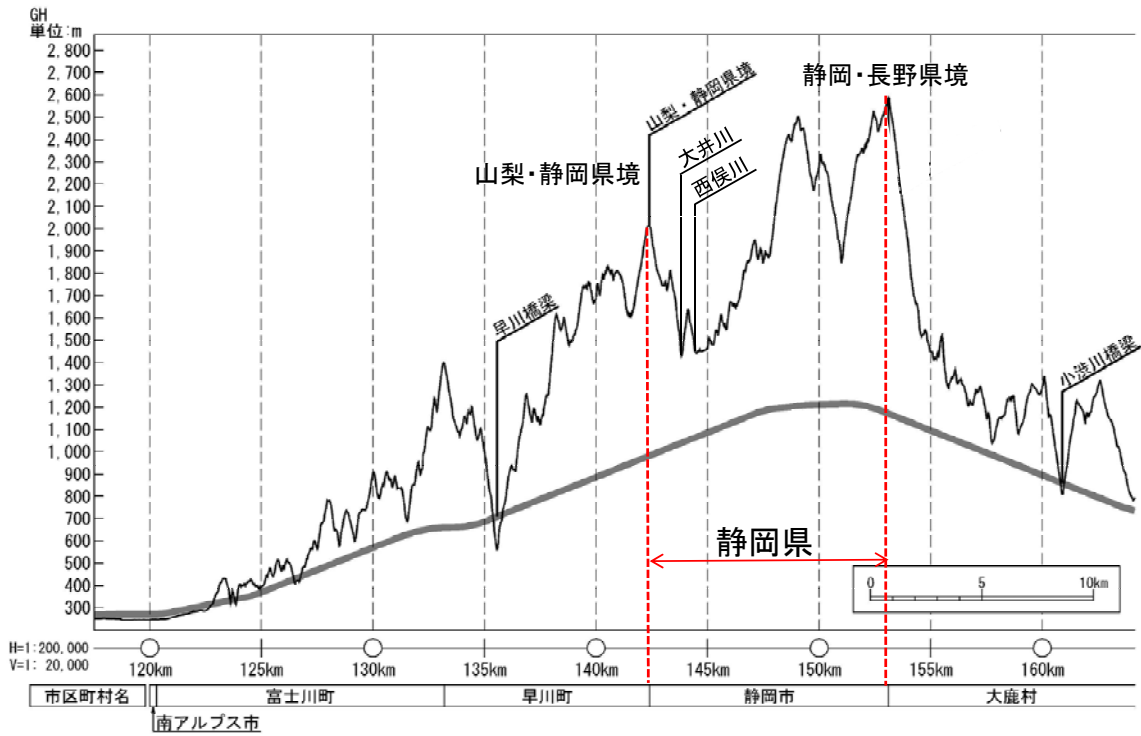
静岡県の路線概要

- ・10. 7km全てトンネル区間となります。



4

静岡県の路線概要

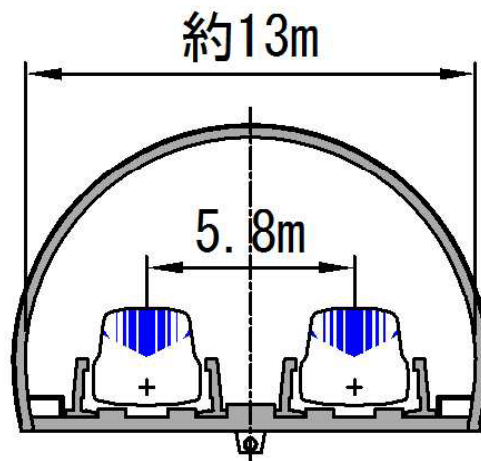


5

トンネルの概要

- ・トンネルの内空有効断面積は、約74m²です。

山岳トンネルの標準的な断面



6

山岳トンネル、非常口(山岳部)の施工概要

1. 非常口掘削



- ・山岳トンネルの施工に際して、非常口を掘削して本坑に掘り進めます。

2. 本坑掘削

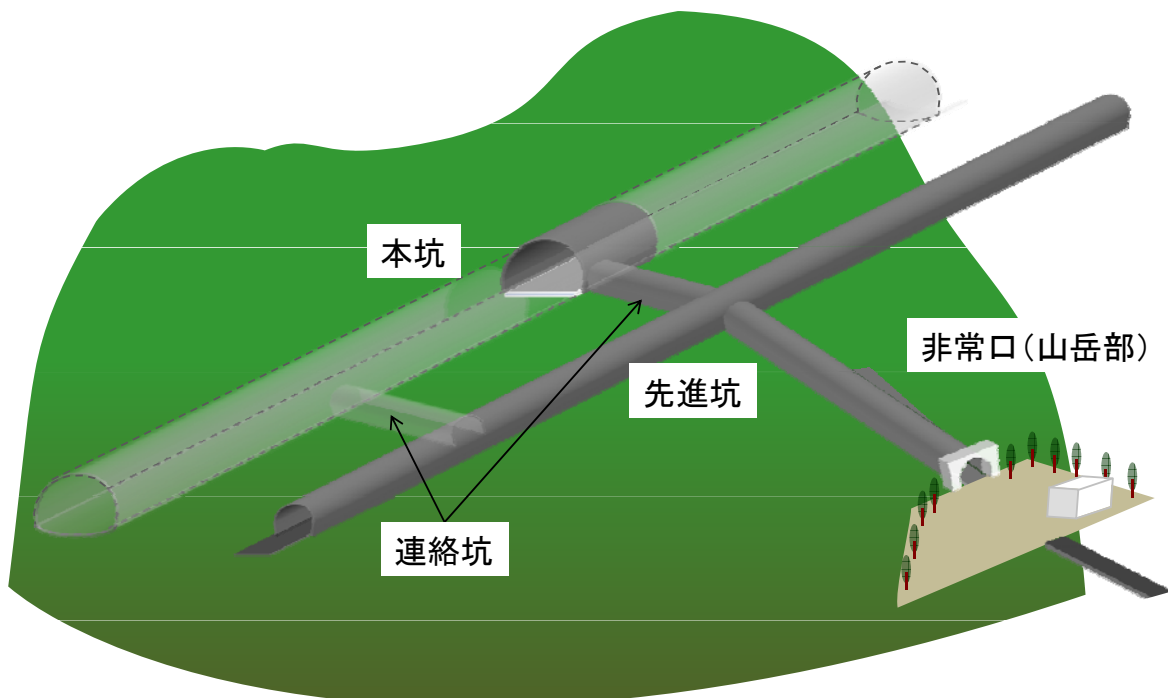


- ・工事施工ヤードの周囲には工事用のフェンスを設置するとともに、発生土の仮置き、濁水処理設備の設置等を予定しています。

7

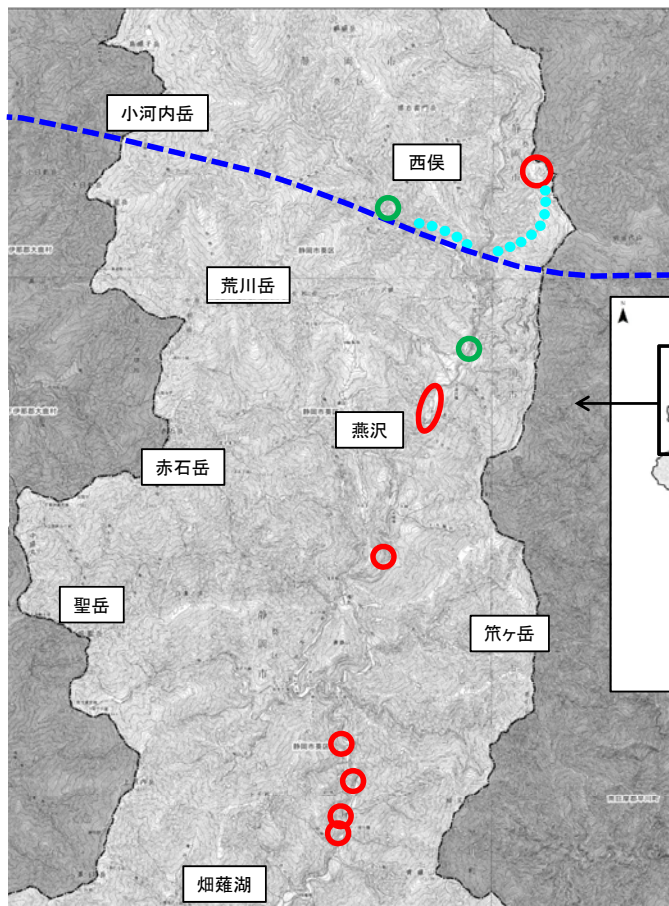
南アルプストンネルの施工概要

- ・掘削時の地質把握のために、本坑に並行な位置に、先行して断面の小さい先進坑を掘削します。

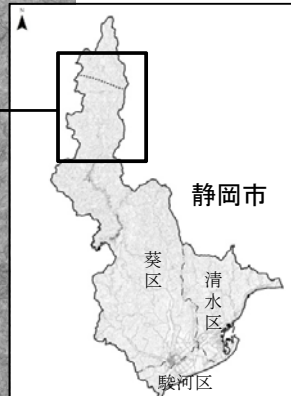


8

発生土置き場・工事用道路(トンネル)の概要



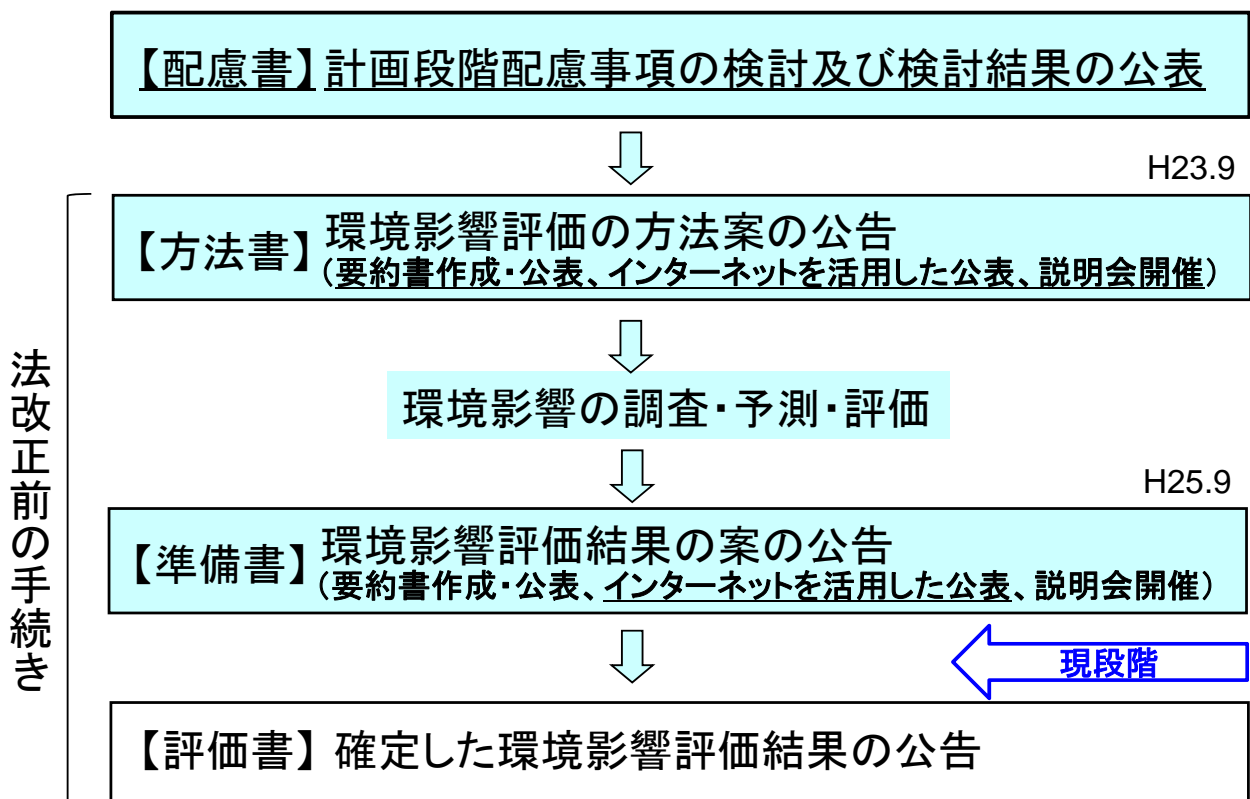
・発生土置き場を7箇所(燕沢付近等)、工事用道路(トンネル)を2箇所(西俣付近等)、計画しています



- 計画路線(トンネル部)
- 非常口(山岳部)
- 発生土置き場
- 工事用道路(トンネル)

環境影響評価の手続き

(下線部はH23年4月法改正事項)



環境影響評価《評価書の手続き》

